

## 学生と教員とFD懇談会実施記録

日時：令和3年10月26日（火） 17:00～18:30

出席者：各学科から8名の学生、FD委員会・企画部会から教員5名（他オンラインで参加）

開催に先立ち、小林FD委員長より、これまで授業改善を目的として学生の意見を直接聞く場がなかった。学生の皆さんの声を聴き、改善すべき点は改善し、より満足度の高い教育を実践していきたい。今回は特に、教員も手探りの状態ですすめてきたオンライン授業をテーマとしている。日頃感じていることなど気兼ねなく自由に話してほしい。との挨拶があった。

### 新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、オンライン授業を受講した感想について

- ビデオを繰返し見返せるのは良いが、映像が不鮮明で色が識別できないことがあった。オンデマンドの方が、映像が鮮明なので良いと感じた。
- ある科目は、板書をカメラで映したものを配信してくれたため、先生のペースについて行きやすかった。



- 悪い例としては、パワーポイントにマウスで直接文字を書く教員がいた。非常に字が汚く、書いた文字の解読に時間がかかり、講義時間をオーバーしてしまう事が多々あった。ホワイトボードを使ってカメラで映してもらえると非常に見やすく助かる。もう一つは実験がオンラインだったが、多少お金がかかったとしても、感染対策を施し対面でやるべきだと思う。

- オンラインの不具合等で授業が途中で終わってしまったという授業があった。また、先生によって授業時間が異なっていた。約30分の動画を見て、板書して終わる授業もあれば、講義時間最後までしっかりと行う授業もあり、大学の授業はこんな感じなのかと思った。
- オンライン授業とは関係ないが、授業回数が15週から14週に変わったにもかかわらず15週の講義が行われ、計画していた旅行をキャンセルせざるを得なかった。今年、同学年の学生が同じ先生の授業を受講したが、成績の公開が遅れたようだ。その辺はしっかりしてほしい。
- 計算系の講義とその演習がリアルタイムで行われたが、授業内容がどうしても計算になってしまうため直接聞きながらやりたかった。質問が多く出そうな授業に関しては対面で実施してほしい。また、先生に質問ができる環境があっても、先生が画面から目をそらしていたため質問ができないこともあった。
- 良かったことは、オンラインの授業が終わった後にすぐ課題に取り組めたことと、パソコンが2台あるため、リアルタイムの授業を受けながら、もう1台のパソコンで課題などを同時並行できたことが良かった。

○いつでも好きな時に受講できるのはよかったが、課題をその日の〇〇時まで提出ということが度々あった。インターンシップに参加していたため、終えてから自宅で授業を受講し課題提出というのはすごくハードだった。



○コロナ前と比較すると学んでいる感じがしなかった。友達の状況が見えない。聞いているだけ。長時間画面を見ているのが耐えられず、集中力が落ちてくるなど、これでいいのか、これで学んでいるのかと感じたことがあった。オンラインの良さはあるが、学生が何をしているか見えないまま授業が進められるのが辛かった。

○グループワークをオンラインで行うという授業があったが、誰も話してくれないため、グループの意見をまとめて発表しなければならないというときは非常に困った。グループワークはオンライン授業には向かないと個人的に思っている。

○zoom と teams を使っている先生がほとんどだと思うが、zoom の場合、webclass からアクセスしなければならないなど個人的に結構手間だった。出席にも時間がかかるため teams に統一してくれると有難い。

○対面の方が勉強するにしても、授業を受講するにしても意欲が湧く。自宅で受講すると誘惑が多く、途中で休憩などをして動画を見終わることができないときがあった。また、先生によっては自分のペースで授業を進めるため、板書に追いつけずその日の全ての授業が終わった後に、残りの板書に取り掛かったということも度々あった。

### **時間割通り又はオンデマンドの利点を活かして1週間内で受講できるような形態が良いか？**

○去年はオンラインがメインだったので、週の前半は寝て、後半で全部受けるというようなことをしてしまい、自分を追い詰めるスケジュールになってしまった。その結果、生活習慣が悪化し体調を崩したりもした。対面が何日かあると、他のオンデマンドの授業を動かすことができ、長い用事を入れることができるので、半々くらいが有難い。

○学生はオンラインの講義、課題をその日の内にやらなければならないという事をたぶん想定していない。基本的に1週間以内が当たり前になっており、その方が課題も提出しやすく、のびのび活動できたという去年の印象だった。

○学生は教えていただくという立場だと思っているので、全て時間割通りでも良いと思っている。生活リズムというのも理由としてあるが、その時間帯に出席をチェックするというのであれば、時間割通り受けるのと変わりはない。

### **オンライン形式の試験を学生はどう考えているか？**

○対面試験とオンライン試験の難易度が同程度であっても対面試験で落とした学生が多いと先生が言っていた。対面で試験をするという前提で勉強してもらう環境を作ることが大事だと思う。

○個人的にはPCの入力が不得意なので、筆記系の試験は対面の方が良いと思うが、簡単な記号で答える科目や文系の科目は、オンライン受験の方が気持ちも楽でいいと思う。



○1番考えるべきことは学生のためになっているかだ。テストのときだけではなく、授業の内容、成果をしっかりと発揮して単位を取るのが理想で、それをオンラインで担保できるのかを考える必要性がある。

○zoomでのテストの際、解答欄を自分で作成してダイレクトメールで送るという〇×問題があった。解答を考えるより解答欄を作る方が難しく、エンターを押すと送信されてしまうが、送信されたものは解

答したものとみなすと当日に言われ、不正と関係なくやりづらく、問題に集中できなかった。

○オンライン試験において、数式で記号を入力する問題形式を出されると、手書では余裕で解ける問題も倍の時間がかかり全く出来なかった。そのような試験は解答を写真で撮って送れるようにしてもらえると助かる。

### **次年度もオンライン授業を残さなければならない可能性がある。そうなった時に、この科目は残すべきだというのがあれば教えてほしい**

○一年生であれば基礎的な科目を対面でやっているが、それよりもその学科でしかできない科目を対面でやってほしいという思いがすごく強い。今年も面白そうな科目がオンラインだったことが気になった。オンラインでもできる授業はあるが、先生たちと学生では考えていることが違うのかなと気になった。学生に聞く機会があれば良いと思う。

○アプリを自分でパソコンにダウンロードし、操作方法を動画で確認し課題を作成するという授業があった。作業の中でどうしてもわからないことがあったが、質問しにくいということもあり、分からないまま次の週の授業が始まり、そのままどんどん積み重なっていったということがあった。今までやったことのないことをオンラインでしなければならないというのは非常に困った。



○パソコンの環境を構築する際に、誰かがつまづいてしまうと授業全体がストップしてしまうことが多かったが、そういう実践的な講義は対面の方がスムーズだと思った。

### **コロナの影響による教室の収容人数の関係で、最初はオンラインで行い、人数が減ったところで対面に変更したが、例えば、2教室に分け、片方の教室を対面、隣の教室は配信された動画を見るとした場合に不公平感を感じるか？**

○言葉は悪いが、意欲があれば先生の方に行くし、欠如している学生は映像の方に行くと思う。教室に入らないほど意欲の高い学生がいた場合は不公平さが出てしまう。

○去年受講した授業は学生が教室に入りきらないため、奇数回は1組が最初の時間帯で2組が次の時間。偶数回はその逆で開講した授業があったが、そういう形式でも良いと思う。

○片方が対面、片方がオンラインというのは不公平を感じると思う。オンラインと対面の違いは相談のしやすさだと思うので、例えば途中途中で先生が行き来するのも良いのではないか。

最後に小祝LD学部長より、コロナ禍という誰もが予期できぬ状況の中、教員も学生もオンライン授業のことが何も分からないままスタートし、いろいろ至らないことが沢山あったと思う。本日の意見は次に繋がる内容だったと思うため、次回開催時も是非参加してほしい。との閉会の挨拶があった。